

「E スクエア・プロジェクト」

学校企画計画実施計画書

「みんなで作ろう！ 百科事典ネットワーク」

赤井川村立都小学校

北海道余市郡赤井川村字都 112 0135—34—6121

学校長 千徳達雄

企画担当者 都築愛一郎

1. 応募するプロジェクト名

「学校企画」

2. 企画テーマ名称

「みんなで作ろう！ 百科事典ネットワーク」

3. 企画のねらい

(1)背景

都小学校は、北海道小樽市のとなり、赤井川村にある全校児童 14 名の学校であり、平成 14 年に開校 100 周年をむかえる歴史ある学校でもある。学年構成は、1 年生 4 名、3・4 年学級 7 名、5・6 年学級 3 名であり、3 学級の複式校である。

自然に恵まれた小規模校として、伝統的に本校には、地域・自然に根ざした学習・行事が数多くある。本校では、平成 12 年度から、総合的な学習の中心に「ふるさと学習」を据え、実践してきた。

ふるさと学習の具体的な手立てとして考えたのが、「地域の百科事典作り」である。

百科事典の学習テーマを地域の自然、風土、歴史、産業とし、それらについてまとめている。6～9 時間を 1 つのユニットとしており、現在は「自然」「稲作」を中心テーマとして、それぞれ児童一人が 5 ページほどを完成させている。百科事典作りの過程を、「見つける、調べる、まとめる、伝える、ふりかえる」5 段階に分けて設定し、実践している。

今後の課題としては、今年度から学校がインターネット環境に置かれるため、ネットを利用した、「まとめ」方、そして「伝える」方法を確立すること、また、同じ取り組みをしてくれる協力校を広く求め、交流の方法を確立することである。

(2)企画実践の必要性、新規性、汎用性、波及効果

- 「自ら課題を見つけ、自ら学習していく」という総合的な学習のねらいに、自ら見つけて、自ら調べ、まとめていく百科事典づくり学習は適している
- 調べる過程に、地域のさまざまな人材を巻き込むことで、学校と地域とが連携した学習を行うことができる
- まとめられた百科事典は、学校、地域、協力校間での共有財産となり、その取り組みは、半永久的に継続可能である
- 同じ取り組みをする協力校を広く求め、作成した百科事典をインターネットを通じて公開する本実践は、インターネットの公開性、双方向性を有効に使用している
- 百科事典作りそのものは、各校で単独にそれぞれの指導法で取り組むことができ、柔軟性がある

(3)企画の目標

百科事典作りの過程を通して、児童一人ひとりが、「見つける、調べる、まとめる、伝える、ふりかえる」力を身につけること。また、児童が協力校の同世代の子どもたちとコミュニケーションする中で、刺激を受け合うこと。

具体的には、1 年間で児童一人ひとりが、5 ページ以上の百科事典のページを作成しホームページ上に公開することである。

4. 企画の概要

(1)対象

小学校 3～6 年生、10 名

(2)実施内容

ふるさとをテーマにした百科事典を、児童一人ひとりが選択した題材に基づき作成し、ホームページ上に公開する。同時に、協力校を広く求め、各百科事典のページをリンクさせ、巨大なインターネット百科事典を作り上げる。そして、協力校間で、百科事典作りに対するノウハウを交流する。

(以下下線部の補足説明)

- テーマについては、本校は来年度に開校 100 周年を控えている点、また小規模僻地校の特徴として「地域の中の学校」という面が強いため、「ふるさと」とした。協力校が実践する場合は、それぞれの実情に合わせて、テーマを選択するのが良い。
- 作り上げる百科事典には以下の項目がある。

「タイトル」	ものの名前(例、いね、スコップ、たうえ)
「辞典ナンバー」	制作順の通し番号、学校の頭文字をつける(例、み 38、)
「キーワード」	タイトルのものに関連するキーワード (例、シラカバの場合 自然/植物/樹木)
「説明文」	タイトルのものの説明文。児童が調べたことを書く。
「図」	タイトルのもののデジカメ写真等
「出典・調べ方」	何(誰)を参考にして、どのように調べたのか
「作者から」	制作を通して作者から自由に
「完成した日時」	
「作者氏名」	
- 児童の学習の段階を「見つける、調べる、まとめる、伝える、ふりかえる」の 5 段階として設定している。児童一人ひとりが、1 つ 1 つの段階に自分なりの課題を立て、ポートフォリオを利用した評価を試みている。
- 協力校については現段階(2001 年 6 月)では、まだ決まっていない。
- 2002 年 2 月予定の公開研究会では、百科事典作りについてのノウハウの交流を行い、「百科事典作りの秘訣集作り」を目指す。

(3)授業計画(カリキュラム)

- 総合的な学習・みやっこタイムでつきたい力

(ア) 見つける力 (イ) 調べる力 (ウ) まとめる力 (エ) 伝える力 (オ) ふりかえる力

- 基本的に毎週金曜日に授業を行い、1 ユニットを 3 時間で構成する。
- 1 学期

回数	月	日	内容	つきたい力・備考
1.	4	20	今年度の目標作成 ● みやっこタイムでつきたい 5 つの力を児童が具体的に考えて設定する	
2.		27	稲調べ 種まき ● 農家行き、種まき風景を観察し、疑問に思ったことについて質問する	(ア)(イ)
3.	5	11	稲調べ 種まき ● 各自百科事典の題材を決め、それについて図鑑等で調べ、百科事典の下書きを完成する	(イ)
4.		18	稲調べ 種まき ● 百科事典のページを完成する	(ウ)
5.		25	稲調べ 田んぼ作り ● 農家に行き、田んぼ作りの過程を観察し、疑問点を質問する	(ア)(イ) 行事「田植え」と関連
6.	6	1	稲調べ 田んぼ作り ● 各自百科事典の題材を決め、それについて図鑑等で調べ、百科事典の下書きを完成する	(イ)
7.		8	稲調べ 田んぼ作り ● 百科事典のページを完成する	(ウ)
8.		22	歴史調べ ● 地域に出かけ、地域の「歴史」に関係するものを写真に撮る	(ア)
9.		29	歴史調べ ● 地域の「歴史」に関係するものの写真をもとに、お年よりから、赤井川村の歴史について、お話を聞く	(イ)
10.	7	6	1 学期発表会の練習 ● 参観日でみやっこタイムの学習成果を発表する練習を行う	(エ)
11.		13	1 学期のまとめ ● ポートフォリオのふりかえりを行い、一学期の各自の成長のあとを確認する	(オ)

● 2 学期

回数	月	日	内容	つきたい力・備考
12.	8	24	稲調べ 収穫 ● 農家に行き、収穫風景を観察し、同時に疑問に思ったことについて質問する	(ア)(イ) 行事「稲刈り」「脱穀会」「もちつき祭り」と関連
13.		31	稲調べ 収穫 ● 各自百科事典の題材を決め、それについて図鑑等で調べ、百科事典の下書きを完成する	(イ)
14.	9	7	稲調べ 収穫 ● 百科事典のページを完成する	(ウ)
15.		14	歴史調べ ● 各自百科事典の題材を決める	(ア)
16.		21	歴史調べ ● 百科事典の題材についてお年よりからお話を聞き、百科事典の下書きを完成する	(イ)
17.		28	歴史調べ ● 百科事典のページを完成する	(ウ)
18.	10	12	学芸会での発表 ● 学芸会でみやっこタイムの学習成果を発表する内容を決める	(エ) 行事「学芸会」と関連
19.		19	学芸会での発表 ● 学芸会でみやっこタイムの学習成果を発表する練習を行う	(エ)
20.		26	コンピュータ学習 ● 基本入力を学ぶ	クラブ活動「インターネットクラブ」と関連
21.	11	2	コンピュータ学習 ● 入力操作を学ぶ	
22.		9	インターネット学習 ● ネットについて学ぶ	赤井川村村内研究大会研究授業
23.		14	インターネット学習 ● インターネット体験	(イ) 水曜日
24.		16	ホームページ作成 ● ホームページ作成ソフトについて学ぶ	
25.		30	ホームページ作成 ● 自分の作った百科事典のページをホームページに作り直す	(ウ)(エ)
26.	12	7	2 学期発表会の練習 ● 参観日でみやっこタイムの学習成果を発表する練習を行う	(ウ)(エ)
27.		13	2 学期のまとめ ● ポートフォリオのふりかえりを行い、一学期の各自の成長のあとを確認する	(オ) 木曜日
28.		21	インターネット学習 ● メールを送り方について学ぶ	

● 3 学期

回数	月	日	内容	つきたい力・備考
29.	1	25	ホームページ作成 自分の作った百科事典のページをホームページに作り直す	
30.	2	1	百科事典の作り方 ● 百科事典作りの秘訣案を考える	
31.		8	百科事典の作り方 ● 百科事典作りの秘訣作りについて協力校と交流する	100 周年記念研究発表大会当日 事前に協力校を探しておく
32.		15	百科事典の作り方 ● 百科事典作りの秘訣集を完成し、ホームページにまとめる	
33.		22	1 年間のまとめ ● ポートフォリオのふりかえりを行い、1 年間の各自の成長のあとを確認する	(オ)
34.	3	1	まとめの発表会 練習 ● まとめ発表会の内容を考え、練習する	(工)
35.		15	まとめの発表会 当日 ● 父母、今までお世話になった方を招待して、学習成果の発表を行う	(工)
年間合計時数			1 0 5	

(4) 評価

児童のための評価は、ポートフォリオを作成し、先にあげた 5 つの段階に基づき、教師、児童、保護者がポートフォリオを仲立ちとして、評価していく。

本実践自体の評価は、8 月、2 月に保護者、児童へのアンケートを行う。また、2001 年 11 月には村内研究大会で公開授業を、翌年 2 月には公開研究大会を、ともに本実践を中心に行う予定でいる。

5. 実施体制

(1) 実施体制

校長 - 教頭 - 研修部

(2) 実施環境

デジタルカメラ(2 台)

児童用コンピュータ(8 台)

インターネットテレビ電話キット(1)